

記者資料提供（令和4年10月14日）

阪神国際港湾株式会社

事業開発部 久保、白神 TEL：078-855-2240 FAX:078-855-3960

大阪港における CONPAS 第2回試験運用の結果について

CONPAS（Container Fast Pass）は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることでコンテナ物流の効率化及び生産性向上を実現することを目的として、国土交通省が開発しました。

今般、大阪港 DICT において、令和4年1月の第1回試験運用に引き続き、令和4年8月～9月に実施しました第2回試験運用では、輸入コンテナ（搬出・実入り）を対象に、第1回試験運用より参加店社の規模を拡大し、阪神港において初めての試みである60分枠を基本とした来場時間の予約制のもと、ゲート処理の運用・効率化の検証と待機場を活用した CONPAS 運用ルールや導線を検証いたしました。

試験運用の結果、当該運用が支障なく機能することを確認しました。また、CONPAS に期待される効果の一つであるゲート処理時間の削減効果について、CONPAS を利用しないトレーラー（通常車両）と比較し、CONPAS を利用したトレーラー（CONPAS 車両）は、トレーラー1台あたりのゲート受付時の処理時間が60秒削減されたことを確認しました。

（通常車両：平均69秒/台、CONPAS 車両：平均9秒/台）

< 試験運用の概要 >

1. 日 時 : 令和4年8月22日（月）～令和4年9月2日（金）※8月27・28日（土日）除く
2. 実施場所 : 大阪港 夢洲コンテナターミナル（DICT）
（C10のINゲート～待機場）
3. 実施内容 : 営業コンテナ（実入り・搬出）を対象としたゲート処理の運用・効率化の検証、
具体的来場時間の予約制の試行、待機場を活用した CONPAS 運用ルールや導線の確認
4. 実施結果等 : [別紙のとおり](#)

以上